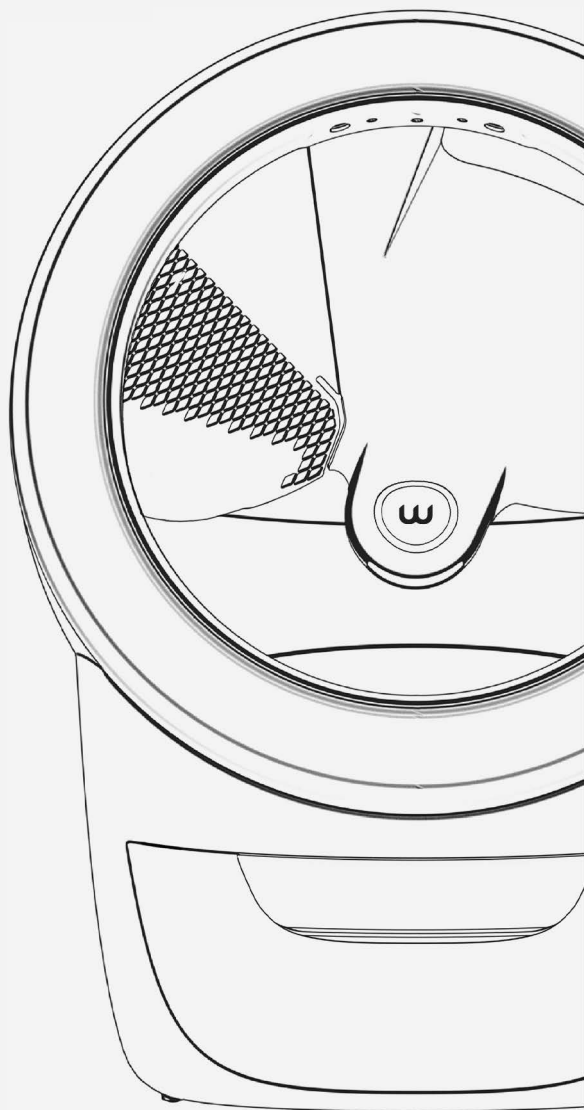


litter·robot® 4

by whisker

取扱 説明書

Whisker.com



Whisker製品のご購入ありがとうございます！

本取扱説明書は、お客様がLitter-Robotを最大限にご活用いただくためのものです。最初に、セットアップの手順をご説明します。そして、お客様の猫が新しいLitter-Robotに慣れるための有用なヒントとアドバイスをご提供いたします。

Whiskerのミッションは、ペットと飼い主様の生活を最良のものにすることです。ペットテックと洗練されたペット用品のリーディングイノベーターとして、当社はペットの生活をより豊かにし、ペットに関する課題を解決し、飼い主様に役立つ情報をお届けするため、たゆまぬ努力を続けております。

Litter-Robotが実現するペットとのより良い生活をお楽しみください。



ジェイコブ
代表取締役社長兼CEO



ブラッド
創業者兼チーフインベーター



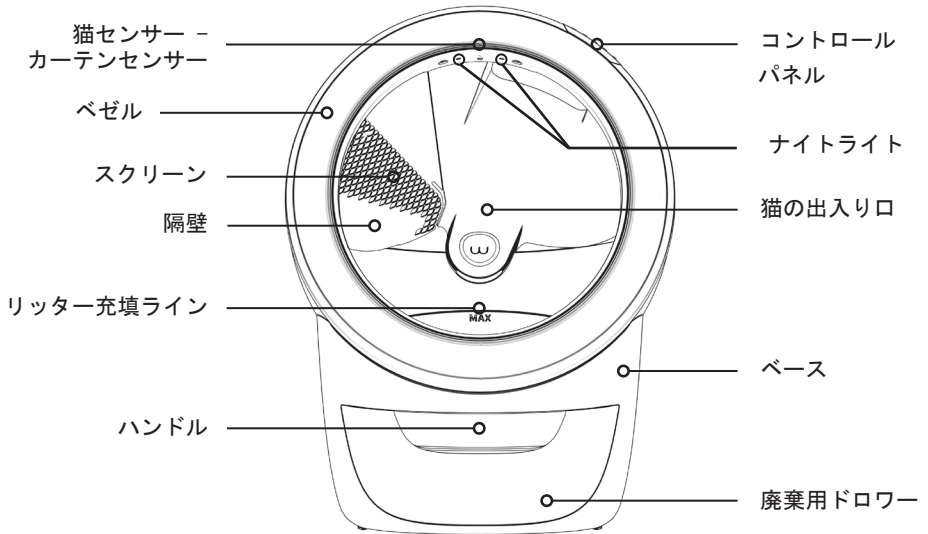
安全に関する重要な説明

- 必須：Litter-Robotを使用する可能性がある猫は、いずれも体重1.36 kg以上である必要があります。自動モードでLitter-Robotを安全に使用するには、猫は1.36 kg以上の体重である必要があります。
- 必須：しっかりとした平らな床の上に設置してください。やわらかい床、平らでない床、不安定な床は避けてください。本機の猫を検知する能力に影響する可能性があります。トイレマットやラグを使用する場合は、本機の前に置いてください。マットの一部を本機の下に敷くことは避けてください。本機をカーペットの上に置かなければならない場合は、Litter-Robot.comで購入可能なアクセサリーのカーペットトレイを使用することを強くお勧めします。
- 必須：メンテナンスを行う際は、事前に本機のプラグを抜いてください。
- 禁止：Litter-Robotに入るよう猫に強制しないでください。
- 禁止：固まるタイプ・ビーズタイプ・クリスタルタイプのリッター以外の、スクリーンを通過するほど小さい物を本機に入れないでください。半透明または白色のリッター（クリスタルタイプのリッターに多く見られる）は、リッターレベルとドロワーフルインジケーター（DFI）の精度に影響を与える可能性があります。
- 禁止：Litter-Robotの上に物を置いたり、座ったりしないでください。
- 禁止：Litter-Robotを壁や部屋のすみに接触させないでください（壁に接触すると正確な重量が計測できなくなります）。
- 禁止：ボンネットとベースは濡らしたり水没させたりしないでください。
- 禁止：お子様、身体的、感覚的、精神的な能力が低下した方、経験や知識のない方が、安全な使用に関する監督・説明および使用に伴う危険に対する理解がないまま、Litter-Robotの使用、清掃、保守を行うことがないようにしてください。8歳未満のお子様は、Litter-Robotに触れることがないようにしてください。
- 禁止：お子様がLitter-Robotで遊ぶことがないようにしてください。
- 禁止：本機の付属品として提供された以外の外部電源を使用しないでください。
- 外部電源が故障した場合は、交換のために弊社にご連絡ください。
- 禁止：Litter-Robot本体は改造しないでください。改造された場合、安全機能に重大な影響を及ぼし、保証対象外となります。

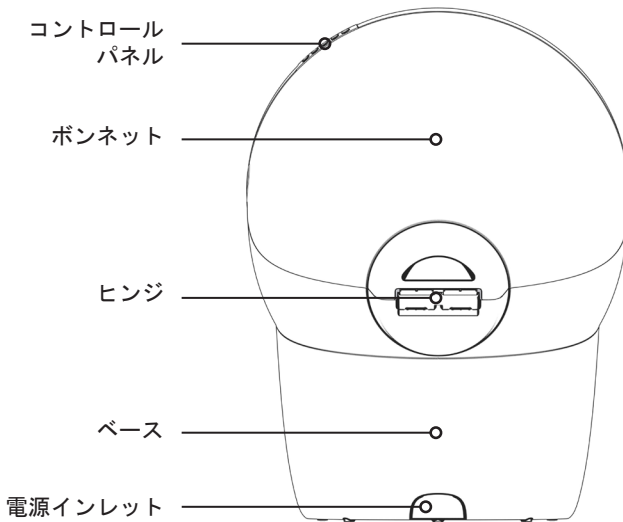
目次

安全に関する重要な説明.....	5
コンポーネントおよび寸法	8
Litter-Robotのセットアップ.....	12
猫をLitter-Robotに慣れさせる.....	14
継続的なメンテナンス	15
サイクル.....	16
コントロールパネル - 各ボタンの機能	18
電源ボタン.....	18
サイクルボタン	18
リセットボタン	19
エンプティボタン.....	19
コネクトボタン	19
コントロールパネル - ライトバー.....	20
センサーと機能	21
猫の存在.....	22
ドロワーフルインジケーター.....	22
リッターレベル	23
自動ナイトライト	23
スリープモード	24
サイクル遅延の設定.....	24
コントロールパネルのロック	25
Whiskerアプリ	26
安全機能.....	27
ご使用とお手入れ	29
よくある質問.....	34
ご自宅でのご試用	37
カスタマーエクスペリエンスへのお問い合わせ.....	37

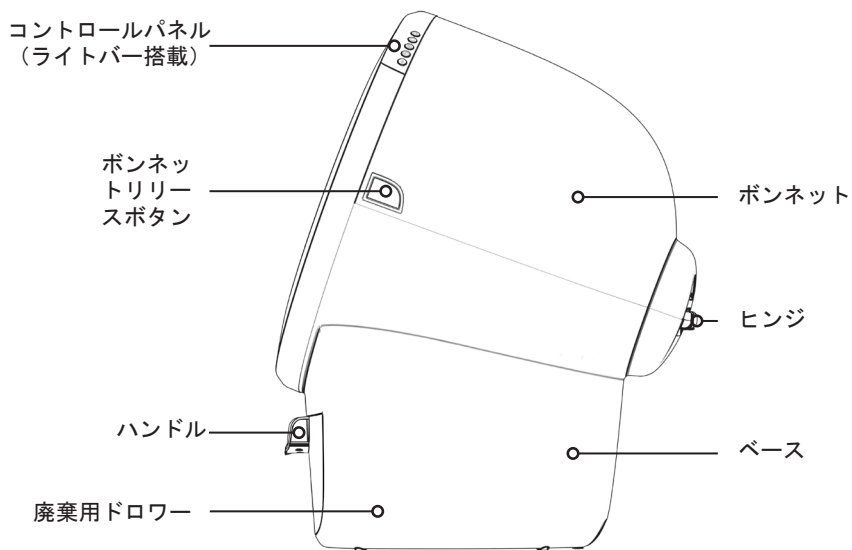
コンポーネント



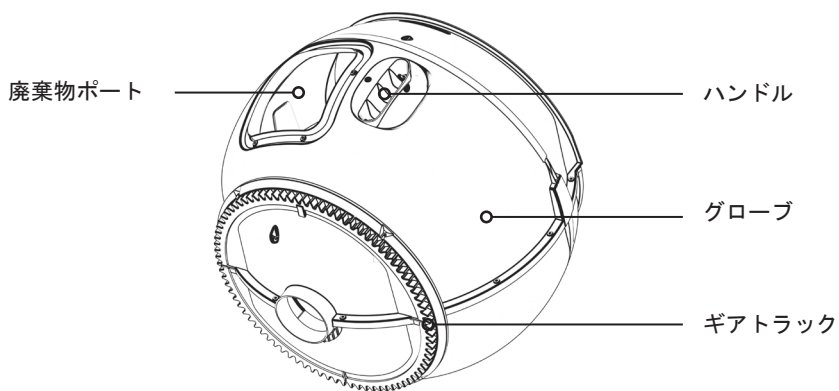
正面図



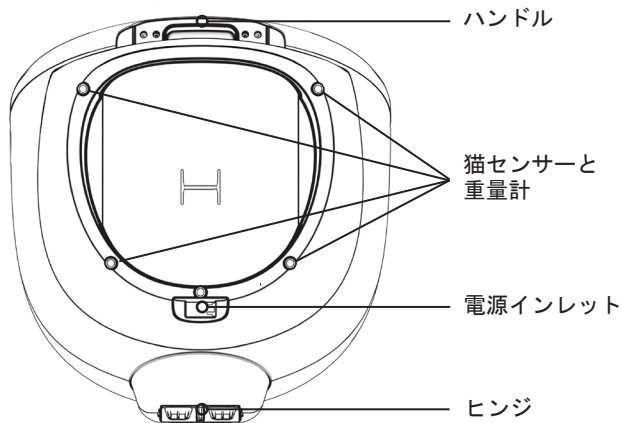
背面図



横面図



グローブ

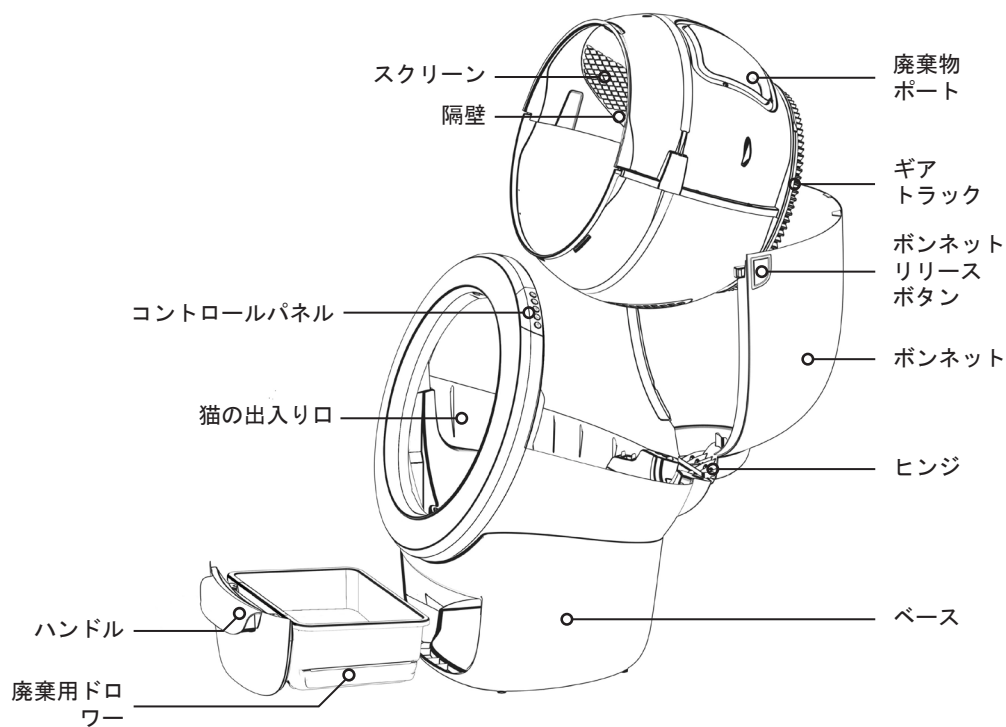


底面図

寸法

	高さ		幅	×	奥行き	重量
組立て済み	75 cm	×	56 cm	×	68.6 cm	10.9 kg
廃棄用ドロワー	14 cm	×	34.3 cm	×	23.5 cm	
入り口	40 cm	×	40 cm			
グローブの内部	40~43 cm (リッターの高さ による)	×	48.3 cm	×	45.7 cm	
リッターベッド			35.5 cm	×	35.5 cm	
床からのステップ (オプション)	17.5 cm					
入り口へのステップ (オプション)	11.4 cm					
床から入り口	30.5 cm					

注記：画像は、廃棄用ドロワーに標準的なハンドルが付いた状態です。オプションのステップとステップマットを使用することで、猫がより簡単にLitter-Robotに入ることができます。



分解図

Litter-Robotのセットアップ

本製品は組立て済みです。すぐに使用可能な状態でお届けします。以下の各ステップに従って使用を開始してください。

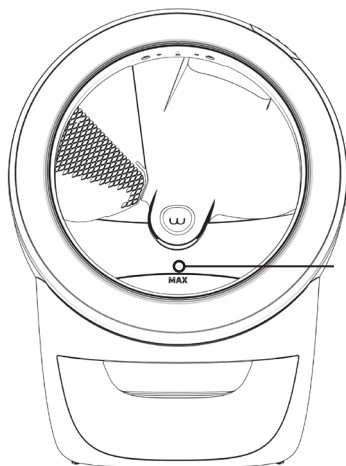
設置

- ❑ できれば、これまで使用していたトイレと同じ場所にLitter-Robotを設置してください（少なくとも移行期間中）。
- ❑ しっかりとした平らな床の上に設置してください。やわらかい床、平らでない床、不安定な床は避けてください。
- ❑ 屋内の湿気が少なく、高温にならない場所で使用してください。高温多湿の場所に置くことは、できる限り避けてください。可能な限り、直射日光を避けてください。
- ❑ 本機はコンセントの近くに設置してください。本機を壁や部屋のすみに接触させないでください。
- ❑ トイレマットやラグは本機の前に敷いてください。マットの一部を本機の下に敷くことは避けてください。本機をカーペットの上に置かなければならない場合は、Litter-Robot.comで購入可能なアクセサリーのカーペットトレイを使用することを強くお勧めします。

リッター

グローブの円形の開口部から、固まるタイプのリッターを平らに広げた状態でMAX（最大）充填ラインを満たすまで入れます（重量で約3.6~4.5kg、容量で4L）。グローブにリッターを入れすぎないように注意してください。

Litter-Robotの「リッターふるいシステム」が正常に機能するには、固まるタイプのリッターでなければなりません。高品質な固まるタイプの粘土質のリッターの使用を推奨いたします。スクリーンを通過するのに十分な小ささのビーズタイプおよびクリスタルタイプのリッターでも構いません（このタイプのリッターは定期的な交換が必要です）。半透明または白色のリッター（クリスタルタイプのリッターに多く見られる）は、リッターレベルとドロワーフルインジケーター（DFI）の精度に影響を与える可能性があります。



リッター
充填ライン

吸水性の強いリッター、固まらないタイプのリッター、固まる力が弱いリッター、新聞紙ベースのリッター、木質ペレットのリッターは、使用しないでください。

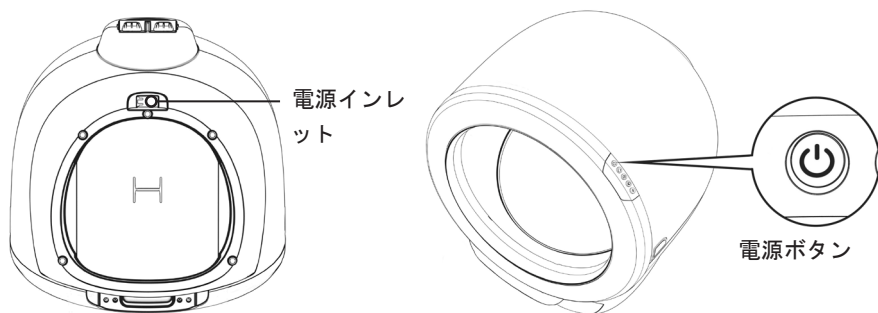
本書に記載されていないタイプのリッターを使用している場合は、互換性があるかを確認するため、カスタマーエクスペリエンスまでご連絡ください。

ヒント：Litter-Robotを初めてお使いになる際は、これまで使用されていたリッターと同じブランドを使用することをお勧めします（固まるタイプのリッターのみ可）。猫は新しいトイレに慣れる必要があります。トイレの変更と同時に、リッターのタイプも変更すると、猫の不安が増すおそれがあります。ただし、現在、固まらないタイプのリッターを使用している場合、固まるタイプのリッターに変更する必要があります。

電源をON

電源の小さい方の端を、ベース背面の電源入力に差し込みます。次にAC/DCアダプターを壁のコンセントに差し込みます。

電源ボタンを押してください。



お疲れ様でした！

Litter-Robotを使用する準備ができました。猫が慣れてきてLitter-Robotを使い始めるまでは、本機の電源をOFFにしておくことをお勧めします。

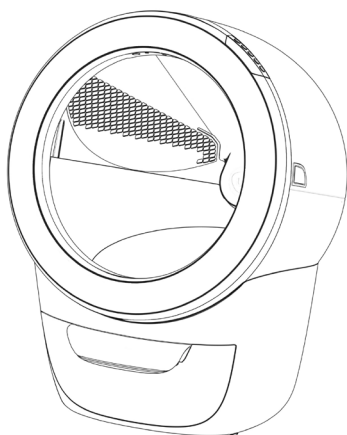
猫をLitter-Robotに慣れさせる

通常、猫はすぐにLitter-Robotに慣れることでしょう。トイレの変更を促すために、以下の方法を試してみてください。

1. Litter-Robotを以前のトイレと同じ場所に設置し、セットアップ（グローブにリッターを入れる）して、電源がOFFになっていることを確認してください。猫がLitter-Robotに慣れるために1~2日様子を見てください。猫が関心を示さない場合、キャットニップなどの猫の好物を使って、Litter-Robotの近くに誘導してください。
2. 猫になじみのあるにおいを感じさせるため、以前のトイレからリッターをひとついれます。
3. Litter-Robotのハンドルまたはステップに猫の好物を置きます。猫が本機とごほうびを関連付けて考えるようにします。
4. 猫がLitter-Robotを使い始めたら、本機の電源をONにして、サイクルを作動させてください。猫がLitter-Robotの動きを観察し、Litter-Robotの音に慣れてもらうため、そばにるように促してください。飼い主様も一緒にいて、猫を安心させてあげてください。サイクルが完了次第、本機の電源をOFFにします（Litter-Robotはホームポジションのまま）。猫がLitter-Robotを使用し始めたら、古いトイレは清掃しないことをお勧めします。
5. 数日経ってもLitter-Robotを使用しない場合、以前のトイレで以前と同じブランドのリッターを使用し、できる限り長い間清掃せずに放置してください。猫は清潔なトイレを好みます。古いトイレの汚れを理由に、新しいLitter-Robotを使用し始めるかもしれません。Litter-Robot内のリッターを、トイレトレーニング用に配合されたリッターと入れ替えることも検討してみてください。

猫がLitter-Robotを使用する習慣がついたら、本機の電源をONにしたまま自動モードで稼働させてください。古いトイレは撤去して構いません。

おめでとうございます。ぜひ、Litter-Robotのある新しい生活をお楽しみください。トイレ周りを簡単かつきれいに保てます。

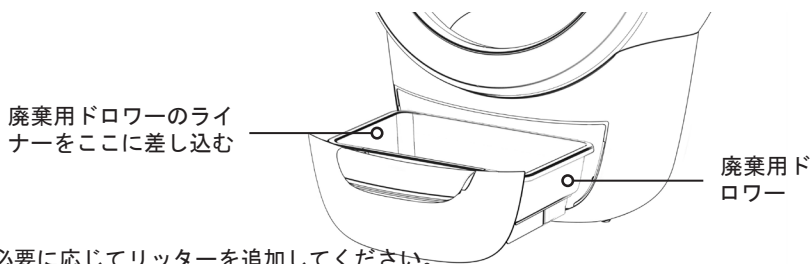


継続的なメンテナンス

コントロールパネルのライトバーが青く点滅したら、廃棄用ドロワーを空にしてください。廃棄用ドロワーを空にする頻度は、猫の数と大きさにより異なります。平均サイズの猫2匹の場合、週2回が一般的です。猫1匹の場合、通常は週1回で十分です。

廃棄用ドロワーを引き出し、ライナーバッグの端を閉じ、廃棄します。「Litter-Robot custom-fit Waste Drawer Liners」または「37〜49Lのゴミ袋」をご利用いただけます。

新しい廃棄用ドロワーのライナーを取り付けるには、袋を開け、開口部を廃棄用ドロワーのフランジの周囲に取り付けます。袋の残りの部分を廃棄用ドロワーの底に押し込みます。本機を壁や部屋のすみに接触させないように注意しながら、廃棄用ドロワーを元の位置に戻してください（壁に接触すると正確な重量が計測できなくなります）。次に、リセットボタンを押し、重量センサーをゼロに戻します。



必要に応じてリッターを追加してください。

週に一回、または毎回、廃棄用ドロワーを空にする際にリッターの高さを確認してください。グローブ内のMAX（最大）充填ラインちょうどまでリッターを追加します。追加しすぎないように注意してください。リッターを追加または除去したら、リセットボタンを押して、重量センサーをリセットします。

リセットボタンを押してください。

本機の重量または配置に変更が生じる際（廃棄用ドロワーを空にする、リッターの追加または除去、本機の清掃または移動を含む）はリセットボタンを押して、重量センサーが猫およびサイクルを適切に検知することを確認してください。

カーボンフィルター、ベースのシールストリップ、廃棄用ドロワーのライナー、Litter-Robotの清掃方法については、29ページの「ご使用とお手入れ」を参照してください。

クリーンサイクル

猫がグローブを離れた後、Litter-Robotは自動でクリーンサイクルを実施します。「ふるいシステム」が、塊となった排泄物を清潔なリッターから分離して、下の廃棄用ドロワーに落とします。クリーンサイクルが完了するのに2分かかります。サイクルボタンを押してクリーンサイクルを開始することもできます。

クリーンサイクル中、いずれかのボタンを押すとサイクルを停止できます。サイクルを再開するには、サイクルボタンを押してください。サイクルを中止してグローブをホームポジションに戻すには、リセットまたはエンプティボタンを押します。

本機のしくみ：

グローブがホームポジションにあり、コントロールパネルのライトバーが青色のとき、Litter-Robotは使用可能な状態です。

1. 猫がグローブに入ると、猫センサーが作動し、青色のライトバーが赤色に変化します。
2. 猫がグローブから出ると、クリーンサイクルへのカウントダウンが開始します。待機時間（24ページ参照）が経過すると、ライトバーが赤色から、クリーンサイクルにおけるグローブの反時計回りの回転を示す黄色の順番に点灯に変わります。
3. 反時計回りに回転することで、清潔なリッターはダストスクリーンを通過し、排泄物の塊は清潔なリッターから分離されます。清潔なリッターは、隔壁の後ろに集められます。
4. 回転中、グローブが逆さになった状態で、フレキシブルグローブライナーの底に内蔵された錘により、ライナーがグローブから離れ、こびりついた塊を確実に取り除きます。
5. グローブがダンプポジションへと回転した後、排泄物の塊は、廃棄物ポートを通過して下の廃棄物ドロワーに落下します。
6. その後、グローブはダンプポジションで停止し、時計回りに回転してホームポジションに戻ります。フレキシブルグローブライナーは元の位置に戻り、清潔なリッターはグローブの底に落ちます。
7. グローブはリッターを平らにするため、ホームポジションを越えるまで回転し、最終的にホームポジションに戻ります。ライトバーが黄色の順番に点灯から次の使用の準備が整ったことを示す青色に変わります。

サイクル遅延のカウントダウン中（赤色のライトバーが点灯）に再び猫がグローブに入ると、猫センサーはその重みを検知して、猫が中にいる間はサイクルを実施しません（21ページ参照）。猫が外に出ると、カウントダウンが再開します。

エンプティサイクル

エンプティサイクルでは、グローブから全てのリッターを廃棄用ドロワーへと落とすことで、簡単に廃棄することができます。このサイクルは、すべてのリッターベッドを交換するとき、またはグローブを清掃する前に使用します（31ページ参照）。

グローブがホームポジションにあり、青いライトバーが点灯しているときにエンプティボタンを押すと、エンプティサイクルが開始します。

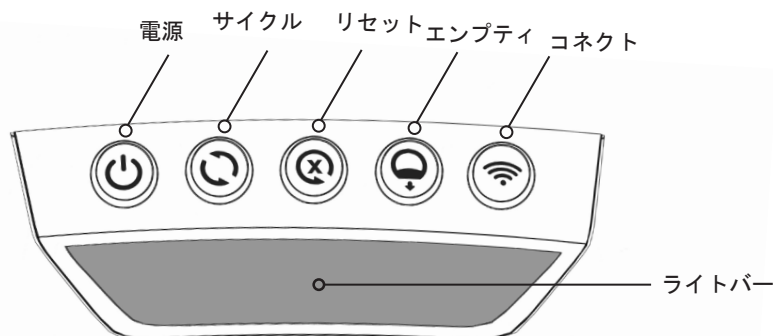
エンプティサイクル中に、サイクル、リセット、エンプティ、コネクトのいずれかのボタンを押すと、サイクルが一時停止します。サイクルを再開するには、サイクルボタンを押してください。サイクルを中止してグローブをホームポジションに戻すには、リセットボタンを押します。

本機のしくみ：

1. エンプティボタンを押すと、グローブは時計回りに回転し、回転方向を示す黄色のライトバーが順番に点灯します。
2. グローブが時計回りに回転するにつれ、リッターは廃棄物ポートを経由して廃棄用ドロワーへ落下します。
3. リッターが空になると、黄色のライトが点灯した状態でグローブは停止し、指示を待つ状態になります（廃棄物ポートへ向かって、残ったリッターを掃き出す必要があるかもしれません）。
4. グローブをホームポジションに戻すには、サイクルまたはリセットボタンを押してください。

重要事項：エンプティサイクル中に猫が入らないように注意してください。

コントロールパネル - 各ボタンの機能



電源ボタン

電源ボタンを押して、電源をONまたはOFFにします。電源をONにすると、ライトバーが白く点滅します。



サイクルボタン + (8時間スリープモード)

サイクルボタンを押すと、クリーンサイクルが開始します（16ページ参照）。もう一度サイクルボタンを押すと、サイクルが一時停止または再開します。

3秒間長押しすると、デフォルトの8時間スリープモードが起動します（24ページ参照）。ライトバーが8時間スリープモードが有効になったことを示す紫色に変わります。このモードを終了するには、サイクルボタンを3秒間長押ししてください。ライトバーがスリープモードが無効になったことを示す青色に変わります。



リセット + (自動ナイトライト)

グローブがホームポジションにあり、青いライトバーが点灯しているときにリセットボタンを押すと、猫センサーがリセットされます。サイクル中にボタンを押すと、サイクルが一時停止します。一時停止中に再度ボタンを押した場合、サイクルを中止します。赤いライトバーが点灯しているときに押すと、猫センサーのサイクル遅延がキャンセルされ、レディモード（青色のライトバーが点灯）に戻ります。

3秒間の長押しで、自動ナイトライト設定モード（23ページ参照）の有効／無効を設定できます。



エンプティボタン + (サイクル遅延の設定)

グローブがホームポジションにあり、青色のライトバーが点灯しているときにエンプティボタンを押すと、エンプティサイクルが開始します（17ページ参照）。クリーンサイクルまたはエンプティサイクル中にボタンを押すと、サイクルが一時停止します。一時停止中にエンプティボタンを押すと、サイクルが中止し、グローブはホームポジションに戻ります。

3秒間の長押しで、サイクル遅延の設定モード（24ページ参照）の有効／無効を切り替えることができます。



コネクトボタン

コネクトボタンを押すと、WiFiをONまたはOFFにできます。

1. WiFiがOFFの場合は、コネクトボタンの隣にある白いランプが点灯します。
2. WiFiがONで接続中の場合は、コネクトボタンの隣にある青色のランプが点滅します。
3. WiFiがONで接続されている場合は、コネクトボタンの隣にある青色のライトが点灯し、青色のライトバーがすべて点灯します。

3秒間の長押しでオンボーディングモードになり、コネクトボタンの隣にある黄色のランプが点滅します。ボタンを押してから離すと、オンボーディングモードが終了します。

コントロールパネル - ライトバー

青色のライトバーが点灯：レディモード

青色のライトバーが点滅：廃棄用ドロワーが 満杯です（22ページ参照）。

WiFiライトの状態：（26ページ参照）

- ☐ 青色：WiFiが接続中です。
- ☐ 白色：WiFiがOFFになっています。
- ☐ 青色点滅：WiFiが切断／再接続中です。
- ☐ 黄色点滅：オンボーディングモードです。

黄色のライトバーが点灯：サイクル中に一時停止しています。

黄色のライトバーが点滅：ボンネットが取り外されています。ボンネットが交換された5秒後に直前の機能を再開します（27ページ参照）。

黄色いライトバーが順番に点灯：クリーンサイクルまたはエンプティサイクルを実行中中です（16ページ参照）。

黄色いライトバーが左右順番に点灯：挟み込み防止機能（28ページ参照）により、サイクルが中断されます。

赤色のライトバーが点灯：猫を検出し、サイクル遅延のカウントダウンを開始します。

青色のライトバーが部分的に黄色に点滅 - ファームウェアが2.87以降：体重超過が30分以上検出されました。

赤色のライトバーが点滅 - ファームウェアが2.86以前：体重超過を検知、またはカーテンセンサーが30分以上作動していました。

赤色のライトバーが点滅：本機内で猫が30分以上連続で検知されました。

赤色のライトバーが左右順番に点灯：ドロワーの中で動くものを検知しました（27ページ参照）。

紫色のライトバーが点灯：スリープモードが有効で、指定されたスリープ期間中です。

赤色のライトバーが瞬間的に点滅：コントロールパネルロックアウトモードです（25ページ参照）。

赤色のライトバーが部分的に黄色に点滅：モーターが障害物や詰まりを検出しました。

赤色のライトバーが部分的に白色に点滅：グローブの位置を検出できません。自動モードでの作動を続行します。カスタマーエクスペリエンスへお問い合わせください。

新しいファームウェアのアップデートによるライトコードの最新リストについては、whiskersupport.com/litter-robot-4を参照してください。

Litter-Robotのセンサーと機能

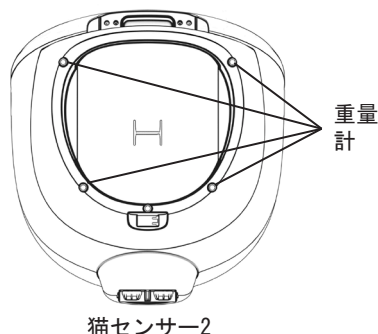
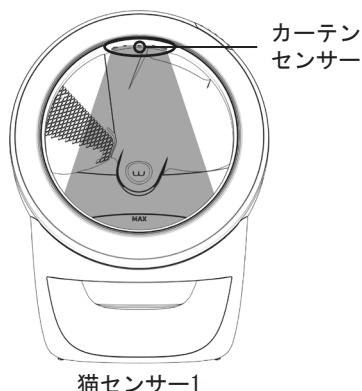
猫センサー - カーテンセンサー

Litter-Robotは、本体の開口部からグローブ内を下向きに監視するカーテンセンサーを搭載しており、ホームポジションで猫がグローブに出入りするのを検知します。サイクル中にカーテンセンサーが作動した場合、グローブは停止します。15秒後他のモードが起動しない場合、グローブの回転が再開されます。サイクルを実施していない場合、ベゼルにカーテンセンサーに干渉するようなゴミ（猫の毛、ほこりなど）がないか確認してください。ベゼルとカーテンセンサーの穴を乾いた布で拭いて解消してください。

猫センサー - 重量計

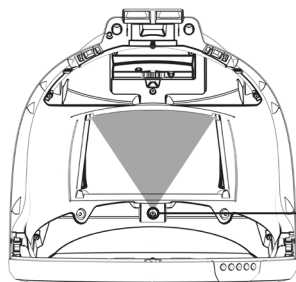
Litter-Robotは、底面に重量センサーを搭載しています。ホームポジションにあるグローブ内の猫を検知して重量を測定します。サイクル中に重量の増加を検出した場合、グローブは停止します。重量が増加してから15秒後にグローブの回転が再開されます。

電源をONにするたび、またはクリーンサイクルの完了時点で、重量センサーは基準値を「ゼロ」に補正するため、本機の重量を測定することにご注意ください。重量計は、リセットボタンを押すことで、いつでも「ゼロ」にすることができます。リッターを追加したり、廃棄用ドロワーを空にしたりなど、本機の重量に影響を及ぼすことを行った後は、リセットボタンを押して重量計をゼロにしてください。リセットをしっかりと素早く押して、青いライトバーが点滅すると体重計がゼロになったことを確認できます。ボタンを押す際に本機にもたれかからないようにしてください。あなたの体重が計測の値に影響してしまいます。重量計の精度を上げるために、本機はしっかりとした平らな場所に設置してください。本機をカーペットの上に置く場合は、重量計の精度が損なわれるため、Litter-Robot.comで購入可能なアクセサリーのカーベットトレイを使用することを強くお勧めします。



猫の存在

Litter-Robotには、廃棄用ドロワーを監視するモーションセンサーが搭載されています。ホームポジションでモーションセンサーが廃棄用ドロワー内の動きを検知すると、廃棄物ポートが廃棄用ドロワーから出るような位置にグローブを回転します。



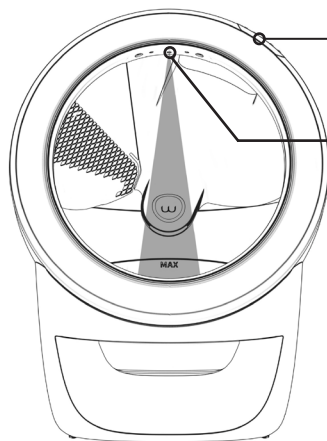
猫の存在センサー

ドロワーフルインジケーター (DFI)

Litter-Robotには、本体上部から下向きの距離センサーが搭載されており、廃棄用ドロワー内の排泄物の量を検知するために使用されます。各クリーンサイクル中、廃棄物ポートが廃棄用ドロワーの上を通過すると、DFIセンサーが廃棄用ドロワー内の排泄物の量を測定します。

廃棄用ドロワーが満杯になると、ライトバーが青色に点滅します。

- ❑ DFIの1回目と2回目の起動時には、ライトバーが青色に点滅し、猫センサーはアクティブのままです。
- ❑ DFIの3回目の起動時には、猫センサーは解除され、自動的にサイクルを行わなくなります。



ドロワーフルインジケーター

距離センサー

廃棄用ドロワーをチェックまたは空にした後、リセットを押してインジケーターをキャンセルします。リセットをもう一度押して、重量計をゼロにします。なお、重量計はクリーンサイクルのたびに自動的にゼロになります。

リッターレベル

距離センサーは本体内のリッターの高さを測定するために使用されます。本機をWhiskerアプリ（26ページ参照）で接続すると、排泄物の高さが指定した閾値以上または以下となった場合に通知を送信できます。

自動ナイトライト

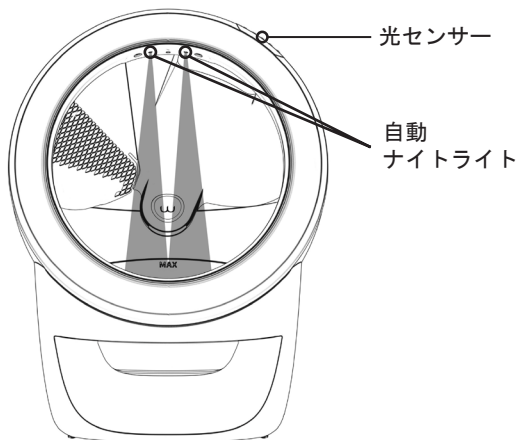
猫は一般に視力が良いですが、加齢や病気により暗い場所での視力が落ちている場合があります。Litter-Robotは、自動ナイトライト機能が有効な状態で出荷しています。コントロールパネルにある光センサーが低照度を感知すると、ナイトライトが自動的に点灯します。

リセットボタンを3秒間長押しすると、自動ナイトライト設定モードに移行または終了します。ライトバーは、現在の設定を表します。リセットボタンを短く押すと、以下のように設定が切り替わります。ご希望の設定を選択した後、リセットボタンを3秒長押しすると、設定が保存されます。

常時OFF → 緑色のライトが1つ点灯

常時ON → 緑色のライトが2つ点灯

自動 → 緑色のライトが3つ点灯



スリープモード

このモードでは、自動でサイクルを実施しないよう、特定の期間で猫センサーを無効にすることができます。スリープモードは、寝室など、1日のうち本機を稼働させたくない時間がある場所でも有効です。

デフォルトでは8時間のスリープ期間がプログラムされています。このスリープは24時間毎に繰り返され、開始時間はスリープモードで最初に設定した時間によって決まります。

サイクルボタンを3秒長押しすると、スリープモードになります。スリープモードでは、ライトバーが紫色に点灯します。スリープ中はライトバーが紫色のままとなり、スリープが解除されると青色に戻ります。

スリープ中は、本機を使用している猫の監視は行いますが、クリーンサイクルは行いません。スリープ期間が終了すると、本機の使用が検出されなかった場合、青色のライトバーで示されるレディモードに移行し、残りの24時間、自動モードで動作します。

スリープ期間中の使用を検知した場合、スリープ期間終了後にクリーンサイクルが実行されます。グローブがホームポジションに戻ると、ライトバーが青色に変わり、残りの24時間は自動モードで動作します。

サイクルボタンを3秒間長押しすると、スリープモードが解除され、ライトバーが紫色から青色に変わるか、スリープ状態でない場合はライトバーが紫に瞬間点滅します。

Whiskerアプリ（26ページ参照）では、カスタマイズ可能なスリープモードのプログラミングのオプションがご利用いただけます。

サイクル遅延の設定

サイクル遅延とは、猫がグローブを出てからクリーンサイクルが開始するまでの経過時間のことをいいます。3分間、7分間、15分間、25分間、30分間に設定することができます。デフォルトのサイクル遅延は7分間です。

においを最小限にすることが重要な場合、または犬などの他のペットが排泄物にさらされる時間を最小限にしたい場合は、サイクル遅延を短くしてください。ただし、サイクル遅延を短くすると、固めるための時間が足りなくなり、清掃の効果が減少する場合があります。固形化に時間がかかる低品質なリッターを使用する際は、サイクル遅延を長くしてください。

エンプティボタンを3秒間長押しすると、サイクル遅延の設定モードに移行または終了します。ライトバーは、現在のサイクル遅延の設定を表示します。エンプティボタンを短く押しすると、以下の設定に切り替わります。ご希望の設定を選択した後、エンプティボタンを3秒間長押しすると、設定が保存されます。

3分 → 緑色のライトが1つ点灯

7分 → 緑色のライトが2つ点灯

15分 → 緑色のライトが3つ点灯

25分 → 緑色のライトが4つ点灯

30分 → 緑色のライトが5つ（すべて）点灯

コントロールパネルのロック

コントロールパネルのロックは、不要な変更を防ぐためボタンを無効にします。Litter-Robotは通常、コントロールパネルがロックされている間、自動モードで作動します。

サイクル + リセットボタンを3秒間長押しすると、コントロールパネルロックアウトモードの有効／無効を切り替えることができます。ライトバーが赤色に瞬間点滅し、ステータスの変更を確認することができます。

コントロールパネルロックアウトモードでは、いずれかのボタンを押すとライトバーが赤色に点滅し、コントロールパネルがロックされたことを示します。

コントロールパネルのロック中でも、電源ボタンを3秒間以上長押しすることで、電源をOFFにできます。

Whiskerアプリ

Whiskerアプリでは、携帯電話からLitter-Robotの設定が可能なプログラミングオプションがご利用いただけます。Litter-Robotの監視と制御、通知の受信、週間および月間の統計を比較することで、猫の健康状態を把握することができます。

Whiskerアプリのインストール

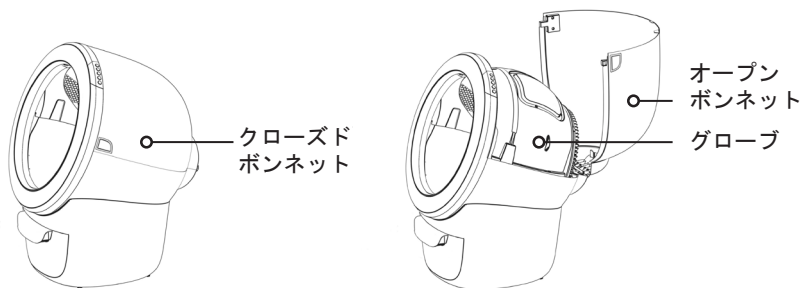
1. 電源ボタンを押して、Litter-Robotの電源をONにします。
2. App StoreまたはGoogle PlayからWhiskerアプリをダウンロードします。
3. お手持ちのデバイスのBluetoothが有効になっていることを確認してください。QRコードをスキャンすると、各アプリストアに移動します。
4. Litter-Robotはオンボーディングモード（WiFiライトが黄色に点滅）で出荷されます。
 - a. オンボーディングモードでない場合は、コネクトボタンを3秒間、またはオンボーディングランプが黄色に点滅するまで長押しします。
5. アプリの指示に従って、本体背面のQRコードをスキャンしてください。
6. Litter-RobotがWiFiに正常に接続されると、コントロールパネルのライトバーのオンボーディングランプが青色に点灯します。
7. オンボーディングに失敗した場合、再試行またはキャンセルを促すメッセージが表示されます。再試行すると、処理をやり直します。
8. オンボードに成功したら、ホーム画面で本機を選択し、Litter-Robotを表示し、任意の設定を変更することができます。



安全機能

ボンネット - フルカバレッジ

ボンネットはカバーとして機能し、グローブが回転する際、廃棄物ポートを保護します。ボンネットが設置されていない場合、グローブは回転しません。（20ページ「コントロールパネル - ライトバー - 黄色のライトバーが点滅」を参照）



オムニセンス猫検知システム

Litter-Robotの猫感知システムは、光センサーと重量センサーの組み合わせで、サイクルの途中で猫が本機に入ろうとするのを検知します。サイクルの途中で猫が本機に入ろうとすると、グローブは停止し、ライトバーが赤色に点灯し、サイクルが中断されたことを示します。猫が検知されなくなってから15秒後まで、サイクルは再開されません。

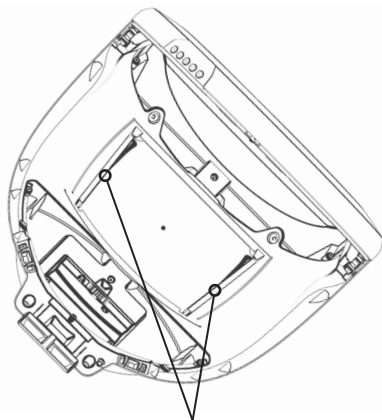
また、廃棄用ドロワーを監視するモーションセンサーも搭載しています。グローブがホームポジションにあるときに、廃棄用ドロワー内で動きが検知されると、廃棄物ポートが廃棄用ドロワーから出るような位置にグローブを回転します。

挟み込み防止機能

Litter-Robotは、猫が安全に使用できるように、廃棄用ドロワーのシュートの両側に挟み込み防止センサーを搭載しています。これらのセンサーは、常に挟み込みの可能性を監視しています。

サイクル中、挟み込み状態の可能性が検知された場合、グローブは停止し、5秒間逆方向に稼働します。2秒間の停止の後、サイクルの継続を試みます。

グローブが逆方向に稼働している間、黄色のライトバーが左右順番に点灯します。



デュアルピンチバー

注記：デュアルピンチバーに余分なリッターがないことを確認します。

オーバーロード検知

回転中にグローブの詰まりや、オーバーロードが発生した場合、モーターは5秒間停止し、逆回転します。2秒間の停止の後、サイクルの継続を試みます。

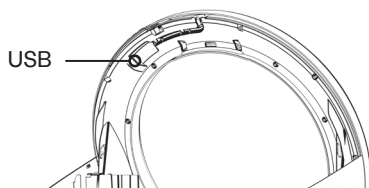
3回試行しても継続できない場合、グローブは停止します。ライトバーにはエラーコードが表示され、赤色のライトバーが部分的に黄色く点滅します。

グローブが詰まりやオーバーロードの状態を経て、クリーンサイクルを完了することができれば、コントロールパネルはレディモード（青いライトバー）に戻ります。引き続き自動モードで作動します。

詰まりまたはオーバーロードエラーがライトバーに表示されている場合、電源をOFFにしてボンネットとグローブを外してください。ギア／モーターに障害物がないか確認してください。組み立て直し、適切なリッターの高さを確認してください。電源をONにしてサイクルを開始してください。問題が解決しない場合、カスタマーエクスペリエンスまでご連絡ください。

USB電源ポート

Litter-Robotは、ベゼル裏側のボンネットの下に、USB電源ポートを搭載しています。このポートは、外部USBデバイスに5V（1A）の電力を供給します。



オプションのアクセサリ：

バックアップバッテリー

Litter-Robotは、バックアップバッテリーを搭載することができます。12VDC、1.3 Ampのバッテリーを使用することで、停電中も稼働し続けることができます。Litter-Robotへの電源が遮断されると、自動的にバックアップバッテリーモードに切り替わります。コントロールパネルのライトバーがすべて青色の状態から、電源ボタンのLEDのみ青く点滅する状態に変化します。

注記：バックアップバッテリーモード中は、電力を節約するため、WiFiおよび ナイトライト機能は無効になります。ライトバーの表示輝度が50%低下し、ナイトライト機能が無効となり、節電になります。

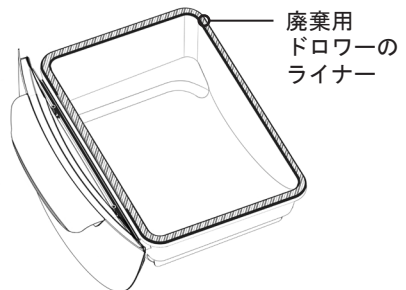
バッテリーポケットおよびコネクタは、ベースのモーターコンパートメントにあります。バックアップバッテリーキットは、litter-robot.comからご注文いただけます。注記：litter-robot.com、whisker.com、当社認定の再販業者のウェブサイト以外で販売されているアクセサリの使用は、Whiskerは承認も推奨もいたしません。Whisker純正品以外のアクセサリを使用して発生した事故やケガについては、Whiskerは責任を負いかねます。Litter-Robotの改造や不正使用があった場合、保証対象外になる可能性があります。

ご使用とお手入れ

廃棄用ドロワーのライナーの設置

Litter-Robotは、廃棄用ドロワーのライナーが取り付けられた状態で出荷されます。このライナーは生物分解性で、Litter-Robot向けに製造されているものですが、37～49 Lのゴミ袋を使用することもできます（白または透明のゴミ袋を推奨）。

1. 新しい廃棄用ドロワーのライナーやバッグを開封します。
2. 廃棄用ドロワーのライナーまたは袋の端を、廃棄用ドロワーのフランジの上に取り付けます。
3. 袋の残りを廃棄用ドロワーの底に押し込み、廃棄用ドロワーをスライドさせて閉じます。

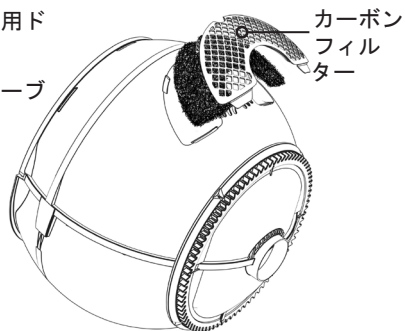


カーボンフィルター

Litter-Robotは、グローブの外底部に柔軟性のあるカーボンフィルターパッドを搭載しています。このフィルターは、廃棄用ドロワーの上に直接設置し、においを吸収します。

カーボンフィルターは、クリーンサイクルを開始し、グローブがダンプポジションにあるときにボンネットを開けると、簡単に着脱できます。カーボンフィルターは、必要に応じて交換してください。通常の使用では、フィルター1枚で約1ヵ月使用できます。本機が稼働するのに、カーボンフィルターは必須ではありません。

交換用カーボンフィルターなどの消臭用アクセサリは、litter-robot.comでご注文いただけます。

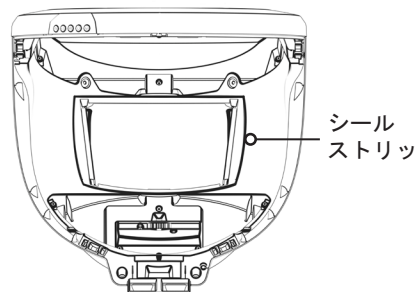


ベースのシールストリップ

Litter-Robotは、ベースの上下にブラスタイプのシールストリップを搭載しています。

このシールストリップにより、廃棄用ドロワー内のおいを封じ込めることができます。

摩耗が生じる、またはめくれてきた場合、シールストリップを交換してください。交換の際にはみ出た端をカットすれば、長持ちさせることができます。ベースを清掃する際はシールストリップを濡らさないように注意してください。濡らしてしまうとめくれてくる場合があります。交換用のシールストリップは、Litter-Robot.comでご注文いただけます。



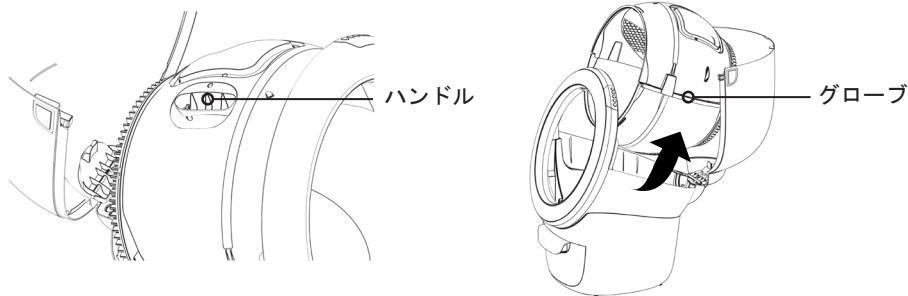
Litter-Robotを空にする

1. 時計周りにグローブをサイクルさせるには、エンプティボタンを押します。それにより、リッターが廃棄物ポート経由で廃棄用ドロワーへ落ち、簡単に廃棄することができます。
2. リッターがグローブ内に残っている場合、廃棄物ポートへリッターを掃き出してください。
3. グローブをホームポジションに戻すには、いずれかのボタンを押してください。

重要事項：エンプティサイクル中に猫が入ることがないように注意してください。リッターが入っていない状態では、猫を検知しない可能性があります。

グローブの清掃

1. 時計周りにグローブをサイクルさせるには、エンプティボタンを押します。それにより、リッターが廃棄物ポート経由で廃棄用ドロワーへ落ち、簡単に廃棄することができます。残ったリッターは、廃棄物ポートへ掃き出してください。次に、サイクルまたはリセットを押して、グローブをホームポジションに戻します。グローブから全てのリッターが取り除かれたことを確認してください。濡れたリッターは粘土状になります。
2. Litter-Robotの電源をOFFにして、本機のプラグを抜いてください。
3. ボンネットを開ける：ボンネットの両脇にあるボタンを長押しして、ボンネットを持ち上げて回転させ、オープンポジションにします。
4. グローブを取り外す：ハンドルを使って、グローブをベースから持ち上げて外します。
5. カーボンフィルターを外します。
6. Litter-Robot用のクリーナースプレーやワイブ、または水と中性洗剤でグローブを清掃します。石鹼水で損傷する電子部品は、グローブ内にはありません。グローブがひどく汚れている場合、水に浸してホースで水をかけて清掃することができます。
7. グローブを完全に乾かしてから、再びベースに取り付け、ボンネットを閉じます（27ページ参照）。

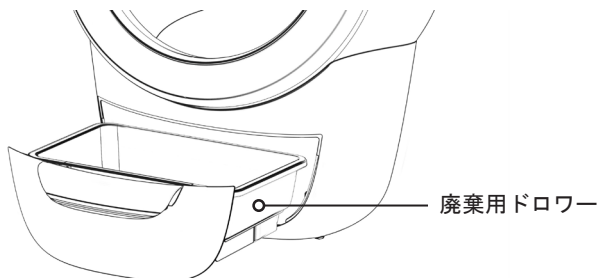


簡単な仕上げとして、グローブ内および上半分を（リッターを取り除かず）拭くのに、Litter-Robot用のクリーナーワイブや使い捨てのタオルを使用することができます。また、手動でグローブを回転させ、リッターがスクリーンの後ろに来るようにすれば、フレキシブルグローブライナーの表面を、スポット清掃することができます。乾燥がすぐに終わるため、Litter-Robotはすぐにご利用いただけるようになります。

Litter-Robot用のクリーナースプレーとワイブは、litter-robot.comでご注文いただけます。

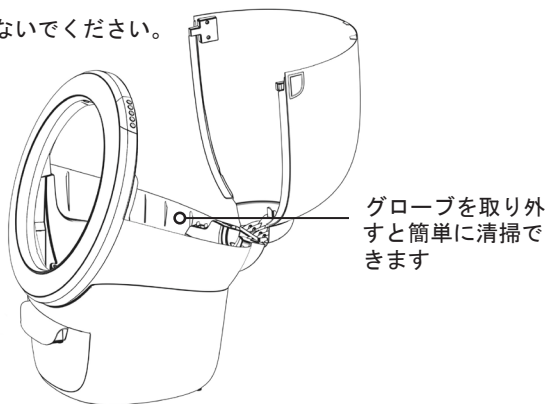
廃棄用ドロワーの清掃

1. 廃棄用ドロワーを引き出します。
2. ドロワーは、Litter-Robot用のクリーナースプレーやワイプ、または石鹸水で清掃してください。



ベースの清掃

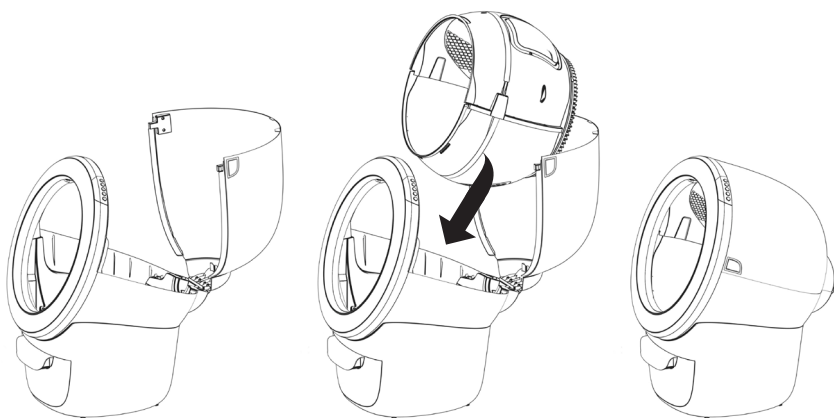
1. ベースやコントロールパネルは、絶対に水没させたり、噴霧したり、水に浸したりしないでください。ベースとコントロールパネルには、センサーや電子部品が搭載されています。
2. ベースの表面を消毒液で湿らせた布で拭いてください。スプレーを使用する場合、ベースから離して布またはペーパータオルにスプレーして、消毒液が電子部品にかからないようにしてください。
3. 漂白剤を使用しないでください。



グローブの取り付け

1. グローブをベース上のおおよそのホームポジションに置きます。グローブのハンドルを持ち、ベース部にスライドさせて戻すと、ほぼホームポジションになります。
2. グローブの後部が後部ベアリングポケットと同一平面上にあり、ギアトラックがモーターピニオンに噛み合っていることを確認します。
3. グローブを包むように側面に軽い圧力をかけながら、ボンネットを下側に回転させます。こうすることで、ベースの各スロットにきちんとはまります。ボンネットを上から押し下げ、ボンネットが所定の位置にはまっており、しっかりと固定されていることを確認します。

注記：ボンネットが取り付けられていない状態では、本機は稼働しません。



動画などのお役立ち情報については、 whiskersupport.com/litter-robot-4 をご覧ください。

よくある質問

猫はグローブの中に入ってくれるでしょうか？

猫は一般に好奇心があるため、新しいものを調べるはずですが、カバー付きのトイレにすでに慣れている猫の場合、すぐにLitter-Robotを調べるでしょう。

Litter-Robotは、以前のトイレと同じ場所に設置することを推奨します。以前のトイレをLitter-Robotの近くにしばらく残しておいても構いません。以前のトイレからリッターをひとつくいて、Litter-Robot内のリッターに加えてください。なお、猫は調べるようになるでしょう。

猫が中に入って見て、自分の足にリッターの感触を感じたとき、どうすればいいかわかっています。

子猫もLitter-Robotを使用できますか？

そばに人がいない状態での1.36 kg以下の猫や子猫の自動モードでのLitter-Robotの使用はお勧めしません。軽量で非常に小さいため、猫感知システムが作動しない場合があります。自動モードでLitter-Robotを使用するにあたって、1.36 kg以上の体重である必要があります。

Litter-Robotの電源をOFFにして、「半自動」モードで作動させることをお勧めします。子猫がLitter-Robotを使用したのを確認したら、電源をONにし、サイクルボタンを押してクリーンサイクルを実行します。クリーンサイクルが終わったら（約2分かかります）、電源をOFFにしてください。こうすることで、子猫は幼いうちにLitter-Robotに慣れ、安全も保たれます。トイレをすくう必要もありません。

注意事項：ご家庭のすべての猫が猫感知システムが作動するのに十分な体重であることがはっきりするまで、Litter-Robotの電源をOFFのままにして、手動でクリーンサイクルを開始するようにしてください。

猫がLitter-Robotを使用しようとしません。どうすればよいですか？

お客様またはペットがLitter-Robotにご満足いただけない場合、90日以内に返品してください。購入価格の全額を返金いたします。返品の際の配送料はお客様負担となることをご承知ください。返品確認（RMA）番号をリクエストするには、カスタマーエクスペリエンスまでご連絡ください。RMA番号がない場合、当社では返品を受け付けることができません。

グローブが回転中に、猫がグローブに入ろうとしたらどうなりますか？

Litter-Robotの猫感知システムは、猫がグローブに入る前に感知し、モーターが停止します。猫がグローブから出ると、Litter-Robotは15秒間待機した後、サイクルを再開しようと試みます。27ページの「オムニセンス猫検知システム」をご覧ください。

グローブ内に熊手のようなものやワイヤーはありますか？

いいえ、グローブ内にあなたの猫を傷つけたり害を与えたりするような熊手のたぐいやワイヤーは一切ありません。Litter-Robotは猫の安全を第一に設計されています。

電子機器や電源は猫にとって危険ですか？

いいえ、グローブ内に電子機器はありません。Litter-Robotは、目覚ましラジオやスマートフォン充電器などのご家庭にあるものと非常によく似たアダプタを使用し、15ボルトDCの安全な電力で稼働します。

猫が中にいる状態でグローブが回転することはありますか？

いいえ、猫が中にいる状態でグローブが回転することはありません。猫がグローブに入ると、Litter-Robotの猫感知システムが作動し、7分間のあいだクリーンサイクルを開始するのを防ぐため、カウントダウンタイマーがリセットされます。

グローブが詰まった場合どうなりますか？

グローブが詰まった場合、または過負荷状態が発生した場合、当社のオーバーロード検知システムにより、異常を検知します（28ページ参照）。さらに、Litter-Robotは挟み込み防止機能を搭載しています（28ページ参照）

Litter-Robotの使用において、特殊なリッターは必要ですか？

いいえ、Litter-Robotは固まるタイプのリッターのみ必要です。高品質でクレイベースの固まるタイプのリッターの使用を推奨します。トウモロコシや小麦などを原料とする軽量なリッターを使用すると、スクリーンを通過できない場合があります。スクリーンを通過することができる場合に限り、シリカゲルを原料とするビーズタイプのリッターおよびクリスタルタイプのリッターも、Litter-Robotで使用することができます。半透明または白色のリッター（クリスタルタイプのリッターに多く見られる）は、リッターレベルとドロワーフルインジケーター（DFI）の精度に影響を与える可能性があります。

Litter-Robotで使用できないリッターは、吸水性の強いリッター、固まらないタイプのリッター、固まる力が弱いリッター、新聞紙ベースのリッター、松が原材料のリッター、吸水性の木質ペレットのリッターです。

Litter-Robotにはどれぐらいの量のリッターを入れるべきでしょうか？

フレキシブルグローブライナー上の高くなったMAX（最大）充填ラインまで、約3.6～4.5kgのリッターを平らにならした状態でグローブに充填してください。グローブに入っているリッターが多すぎる場合、最初の数サイクルのうちに廃棄用ドロワーへと排出されます。毎回のサイクルで排泄物の塊は除かれるので、グローブに過剰なリッターを入れる必要はありません。

リッターの追加はどれぐらいの頻度で行う必要がありますか？

「ふるいシステム」は排泄物の塊だけを除去するため、Litter-Robotは非常に効率的にリッターを使用します。廃棄用ドロワーを空にする際、高くなった（フレキシブルグローブライナー上の）MAX（最大）充填ラインに対するリッターの高さを確認することをお勧めします。猫が1匹の場合は週に1回、複数の場合は週2回が目安となります。グローブにリッターを入れすぎないように注意してください。

グローブの回転およびリッターの移動で、ほこりによるトラブルは起きませんか？

いいえ、Litter-Robotは低塵設計のスクリーンを搭載しており、クリーンサイクル中にリッターがスクリーンを通過するため、過剰なほこりが発生することはありません。

廃棄用ドロワーを空にするのは、どれぐらいの頻度で行う必要がありますか？

猫の数とサイズによって異なります。平均サイズの猫2匹の場合、週2回が一般的です。猫1匹の場合、通常は週1回で十分です。

グローブ内の清掃は、どれぐらいの頻度で行う必要がありますか？

お客様の方針と猫の行動によります。1ヵ月から3ヵ月に一度、グローブ内の清掃を実施することをお勧めします。29ページの「ご使用とお手入れ」を参照してください。

Litter-Robotの外部はどのように清掃したらよいですか？

Litter-Robotの外部の清掃は簡単です。まず、グローブ、ボンネット、廃棄用ドロワーを取り外し、Litter-Robot用クリーナーまたは中性洗剤と水で拭き上げるか、屋外に持ち出してホースで念入りに洗浄してください。その他の表面はすべてきれいに拭くことができますが、浸水させないようにしてください。

注意事項：Litter-Robotのベースは、電子部品を含むため、浸水させないようにしてください。29ページの「ご使用とお手入れ」を参照してください。

90日間のご自宅でのお試し

90日間のお試し期間がありますので、安心してお問い合わせください。お客様やペットがLitter-Robotにご満足いただけない場合、ご返品いただくと、購入代金を返金いたします。返品送料のみ、ご負担をお願いします。

Whisker以外からLitter-Robotを購入された場合は、購入先とご相談の上、購入先の返品ポリシーに従って返品を行ってください。

Whiskerのカスタマーエクスペリエンス

ご質問やお困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。ご利用開始やトラブルシューティングについては、サポートサイトをご覧ください。

オンライントラブルシューティング

whiskersupport.com

litter·robot® 4

by whisker

LR4-8008-7L Rev 4

1080 W Entrance Dr
Auburn Hills MI 48326
Whisker.com

米国で
設計・組立

